



# 人を<支える>ということ ～今、震災1年後の映画から考える～

11月21日(土)13:00～

東京エレクトロンホール宮城602会議室  
参加費:無料/予約:必要/定員:30名

主催:みやぎシネマクラドル  
共催:i-くさのねプロジェクト、ピーストゥリー・プロダクツ

## ●第13回のテーマは…

東日本大震災後も各地で起こる大きな災害。その度に、被災した地域の支援のあり方が問われます。今回の映像サロンでは、震災1年後の南三陸を舞台にした我妻和樹さんの新作長編ドキュメンタリーを観ながら、あの時期、被災地にどのような人と人の交わりがあったのかを改めて振り返り、人を<支える>ということの意味やその難しさについて考えてみたいと思います。是非ご参加ください。

## ●スケジュール

- 12:30～ 開場
- 13:00～ 開会のあいさつ
- 13:05～ 発表者のあいさつと作品上映
- 14:55～ 休憩
- 15:10～ ディスカッション
- 16:00 終了

※ディスカッションの様子は後日希望者に限定公開します。



### 我妻和樹（あがつま・かずき）

1985年宮城県白石市出身。東京都在住。  
東北学院大学で民俗学を学んだことがきっかけで2005年から南三陸町に通い続け、震災前を描いた『波伝谷に生きる人びと』（2014年）、震災後を描いた『願いと揺らぎ』（2017年）の2本の長編ドキュメンタリー映画を製作し、劇場公開。みやぎシネマクラドルでは代表を務める。



みやぎシネマクラドルは、宮城周辺で活動する映像作家と市民が交流しながらネットワークを広めていくプロジェクトです。地元どんな作家がいてどんな活動をしているのか興味はありませんか？お気軽にご参加ください。



■予約申し込み先  
☎080-2773-0181 (砂子)  
✉m.cinamacradle@gmail.com (我妻)  
<http://www.smt.jp/projects/cradle/>

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今回の映像サロンは会場が変わります。また事前予約制とさせていただきます。ご参加のみなさまにはコロナ対策へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

